

一般講演プログラム

講演12分, 討論3分(1 鈴10分, 2 鈴12分, 3 鈴15分)

第2日 3月14日(金) B会場(W-314教室)

-
- 13:10 B201 カメムシ由来アルデヒドの分泌腺内での挙動と生体分子との反応
○野下浩二, 阿部誠, 田母神繁 (秋田県大・生物資源)
- 13:25 B202 メチルジャスモン酸により放出されるヒナタイノコズチ C6 化合物の構造と
生合成
○田母神繁, 野下浩二, 阿部誠 (秋田県大・生物資源)
- 13:40 B203 イネ病害抵抗性を誘導するアシルスペルミジンの構造決定
○岩川純也¹, 彦坂政志¹, 中村英光¹, 前田哲², 森昌樹², 浅見忠男¹ (¹東大院・農
生科, ²農業生物資源研究所)
- 13:55 B204 ジャポニカ種およびインディカ種のイネにおけるファイトアレキシン, サクラネ
チンの蓄積
○吉本理子¹, 西口沙也加¹, 中島廣光¹, 寺石政義², 森直樹², 奥本裕², 石原亨¹
(¹鳥取大・農, ²京大院・農)
- 14:10 B205 海藻類に認められた生物活性について
○坂元祥子¹, 林裕一², 飯尾友和子¹, 喜田裕也¹, 篠原弘亮¹, 根岸寛光¹ (¹東農大・
農, ²岡部株式会社海洋事業部)
- 14:25 B206 希少糖の病害防除への応用 (6) D-Tagatose の *Pythium* に対する防除活性
○加藤重博¹, 小原敏明¹, 重松由夫¹, 秋光和也², 田島茂行², 何森健², 垣渕和正³,
石田豊³, 河西史人¹ (¹三井化学アグロ, ²香川大農, ³四国総合研)
- 14:40 B207 青枯病菌の走化性誘引物質の探索
○岡部淳, 加藤雄亮, 梶真澄, 川出洋, 夏目雅裕 (農工大院・農)
- 14:55 B208 *Phc* クオラムセンシング系によって産生制御される *ralfuranone* 類は青枯病菌の病
原力に重要である
○大西秀幸¹, 甲斐建次¹, 浅井郁哉², 森友花², 木場章範², 大西浩平³, 曳地康史²,
林英雄¹ (¹阪府大院・生命環境, ²高知大・農, ³高知大・総研セ)
- 15:10 B209 植物病原放線菌 *Streptomyces turgidiscabies* の生産する植物毒素
○岡庭奈保子¹, 長瀧麻穂¹, Jari P. T. Valkonen², 川出洋¹, 夏目雅裕¹
(¹農工大院・農, ²ヘルシンキ大)
- 15:25 B210 放線菌の生産する植物毒素 thaxtomin 類縁体の構造と活性 (第三報)
○神保崇子, 齋藤賢知, 蛭田麻理, 飯島昌世, 川出洋, 夏目雅裕 (農工大院・農)
- 15:40 B211 エンバクが生産する新奇発芽刺激物質の構造決定
○金賢一^{1,2}, Pichit Khetkam^{1,2}, 来生貴也¹, 謝肖男¹, 米山香織¹, 内田健一³, 横田
孝雄³, 野村崇人¹, Christopher S. P. McErlean⁴, 米山弘一¹ (¹宇都宮大・雑草科学,
²農工大・連合農学, ³帝京大・バイオ, ⁴Sch. Chem., Univ. Sydney)
-

-
- 15:55 B212 加水分解酵素 D14 によるストリゴラクトン受容機構に関する研究
○戸塚直哉¹, 太田鋼¹, 石玄¹, 侯峰¹, 宮川拓也¹, 福井康祐^{1,2}, 田之倉優¹, 中村英光^{1,2}, 浅見忠男^{1,2} (¹東大院・農生科, ²JST/CREST)
- 16:10 B213 ダイズシストセンチュウ孵化促進物質の解析
○町田教暢¹, 野中詩織¹, 近藤竜彦², 佐々木康幸¹, 矢嶋俊介¹, 浅見忠男³, 伊藤晋作¹ (¹東農大・応生科, ²名大院・生命農学, ³東大院・農生科)
- 16:25 B214 イネ根圏由来のカテコール耐性細菌 *Burkholderia heleaia* によるイネ苗立枯細菌病の病徴発現抑制とトリプトファン無添加培地での IAA 産生との関連
Wang Mengcen, ○橋床泰之 (北海道大院・農)
- 16:40 B215 抗菌性リポペプチド iturin のタアサイ萎黄病抑制効果
○早川浩臣, 横田健治 (東京農大院・農化)
- 16:55 B216 ハスモンヨトウ食害に対するダイズの化学的応答
○村上真一郎¹, 中田隆¹, 網干貴子¹, 吉永直子¹, 石原亨², 寺石政義¹, 奥本裕¹, Eric A. Schmelz³, 森直樹¹ (¹京大院・農, ²鳥取大・農, ³USDA・CMAVE)
- 17:10 B217 Ganomycin I と fornicin A の合成と生物活性
○浦尾翔太, 矢島新, 勝田亮, 額田恭郎 (東農大院・農)
- 17:25 B218 ナスミバエ雄誘引物質類縁体の合成および活性の評価
○江口恭¹, 吉田幸広¹, 宇久田理恵², 安藤緑樹², 原口大², 小濱継雄², 小野肇¹, 西田律夫¹ (¹京大院・農, ²沖縄県農研センター)
- 17:40 B219 GC/FT-IR を活用したテトラエン構造を有する新規性フェロモン成分の解析
○村木優太¹, 中秀司², 本間淳^{3,4}, Johanna Mappes⁴, Kaisa Suisto⁴, 安藤哲¹
(¹農工大院・BASE, ²鳥取大・農, ³滋賀県立大, ⁴Univ. of Jyväskylä)
- 17:55 B220 新規ラベル化剤を用いた Flubendiamide 分子基盤の解明
○木村祐¹, 犬飼佳代³, 坂田和之³, 森恵美子¹, 黒川竜紀¹, 清中茂樹^{1,2}, 森泰生^{1,2}
(¹京大院・工, ²京大院・地球環境, ³日本農薬)
- 18:10 B221 ミトコンドリア複合体-I の位置特異的化學修飾
○梶谷貴洋, 村井正俊, 三芳秀人 (京大院・農)
- 18:25 B222 ミトコンドリア複合体-I 阻害剤としてのアミロライド類縁体の合成と作用機構の解明
○村上園実, 伊藤剛, 土生沙綾子, 村井正俊, 三芳秀人 (京大院・農)
-

第2日 3月14日(金) C会場(W-322教室)

- 13:10 C201 イプフェンカルバゾンのノビエに対する長期残効性に関する効果発現要因解析
○兼松慧, 秋山美佐紀, 平松基弘 (北興化学)
- 13:25 C202 新規除草剤フェンキノトリオンに関する研究 (第2報)
ー水稲用除草剤としての特性ー
○小林方美¹, 永松敦¹, 中野勇樹², 玉井龍二³, 伊藤稔³ (¹クミアイ化学, ²KUMIKA INTERNATIONAL, ³ケイ・アイ研究所)
- 13:40 C203 オーキシシン型除草剤キンクロラックと2,4-Dのシロイヌナズナにおける作用性比較
○河野裕之¹, 春原由香里¹, 三輪恭子¹, 岩上哲史², 林謙一郎³, 松本宏¹
(¹筑波大, ²京都大, ³岡山理科大)
- 13:55 C204 ピリミルスルファンの変異 ALS に対する効果及び ALS タンパク質への結合様式(1)
○種谷良貴¹, 堀田順子¹, 藤岡智則¹, 鈴木倫太郎², 土屋渉², 藤本瑞², 山崎俊正², 河合清¹ (¹クミアイ化学, ²農業生物資源研究所)
- 14:10 C205 ピリミルスルファンの変異 ALS に対する効果及び ALS タンパク質への結合様式(2)
○鈴木倫太郎¹, 土屋渉¹, 藤本瑞¹, 種谷良貴², 堀田順子², 藤岡智則², 河合清², 山崎俊正¹ (¹農業生物資源研究所, ²クミアイ化学)
- 14:25 C206 根寄生雑草ヤセウツボの発芽時に発現する β -マンノシダーゼの役割
東久保諒¹, Gregory Guirimand¹, 若林孝俊¹, 關光¹, 村中俊哉¹, 水谷正治², 杉本幸裕^{2,3}, 岡澤敦司^{3,4} (¹阪大院・工, ²神戸大院・農, ³JST-JICA・SATREPS, ⁴阪府大院・生命環境)
- 14:40 C207 新規オーキシシン受容体阻害剤の作用解析
○白井郁也, 早瀬大貴, 浅見忠男 (東大院・農生科)
- 14:55 C208 GA 様活性を有する AC94377 の作用機序解析
○大谷征史, 下高原宏明, 尹禎敏, Seung-Hyun Park, 中嶋正敏, 浅見忠男 (東大院・農生科)
- 15:10 C209 PIP-1 の誘導する防御応答関連二次代謝に関与するシグナル因子
○金容賢, 宮下正弘, 宮川恒 (京大院・農)
- 15:25 C210 オジギソウ属植物が生産するミモシンによる植物生育抑制機構
○福島悠介, 春原由香里, 松本宏 (筑波大・生命環境)
- 15:40 C211 殺菌剤イソプロチオランの植物成長調節作用の解析
○草島美幸, 宮寄樹, 宮下範大, 前原恭兵, 與多垣内雄也, 仲下英雄 (東農大・生応化)
-

-
- 15:55 C212 新規骨格を有するセルロース生合成阻害剤 HJ27の機能解析
○安藤卓也^{1,3,4}, 北畑信隆², 大谷征史^{1,4}, 早瀬大貴³, 桧垣匠⁵, 長田裕之^{3,6}, 中野雄司^{3,4,6}, 浅見忠男^{1,4} (¹東大院・農生化, ²東京理科大・理, ³理研・抗生物質, ⁴JST/CREST, ⁵東大院・新領域, ⁶理研 CSRS・ケミカルバイオロジー)
- 16:10 C213 ジベレリン様活性を示す合成化合物の探索と活性発現機構の解析
下高原宏明¹, 大谷征史^{1,3}, 尹禎敏¹, 羅明¹, 中野雄司^{2,3}, 中嶋正敏¹, ○浅見忠男^{1,3} (¹東大院・農生科, ²理研・抗生物質, ³JST/CREST)
- 16:25 C214 新規植物免疫活性化剤の探索と作用機構の解析
○北畑信隆¹, 八木智華子¹, 吉川武史¹, 大滝幹¹, 来須孝光², 浅見忠男³, 朽津和幸¹ (¹東京理科大・理工, ²東京工科大・応用生物, ³東大院)
- 16:40 C215 ショウジョウバエにおけるエクジステロイド動態が脱皮・変態に果たす役割の解析
○海江田祐也, 増田亮太, 西田律夫, 小野肇 (京大院・農)
- 16:55 C216 Ficifolidione 類縁体の殺虫活性と細胞毒性
○藤原敏美, 西脇寿, 菅原卓也, 山内聡, 首藤義博 (愛媛大・農)
- 17:10 C217 カイコ培養細胞株における殺虫剤に対する感受性
○秋月岳 (農業生物資源研究所)
- 17:25 C218 無脊椎動物特異的ドーパミン受容体に作用するアンタゴニストの効率的スクリーニング系の構築
○菅野暉子¹, 野田啓太², 光増可奈子², 柳沼利信³, 朝岡潔⁴, 林直孝⁵, 今井哲弥⁵, 森村茂², 新留琢郎², 太田広人² (¹熊本大工・物質生命, ²熊本大院・自然科学, ³名古屋大院・生命農, ⁴生物研, ⁵大塚アグリテクノ)
- 17:40 C219 ストロビルリン系殺菌剤による植物の高温障害軽減効果とその系統内差異
○伊代住浩幸, 貫井秀樹, 影山智津子 (静岡県農林技術研究所)
- 17:55 C220 ミトコンドリア ADP/ATP 輸送体を生物種選択的に阻害する化合物の探索
○三芳秀人¹, 塩月孝博², 篠原康雄³, 塩見和朗⁴ (¹京大院・農, ²農生研, ³徳島大・疾患プロテオゲノム, ⁴北里大・感染制御)
- 18:10 C221 リン脂質カルジオリピンのシトクロム *c* への結合部位の同定
○小坂亜弓, 田邊有貴恵, 安部真人, 三芳秀人 (京大院・農)
- 18:25 C222 カルジオリピン-シトクロム *c* 複合体のペルオキシダーゼ誘導の分子機構
○三木祐子, 安部真人, 三芳秀人 (京大院・農)
-

第2日 3月14日(金) D会場(W-422教室)

- 13:10 D201 含水アセトニトリル抽出による残留農薬分析試料調製過程の省溶媒化
○渡邊栄喜, 小原裕三, 馬場浩司, 殷熙洙 (農環研)
- 13:25 D202 ハイブリット型カラムを用いた脂質を含む食品中残留農薬分析の検討
○上田祐子, 本田克久 (愛媛大・農)
- 13:40 D203 FTIR-ATR 法による柑橘中マンゼブの簡易スクリーニング
○山下正純¹, 橋國叶恵¹, 向井亜希子¹, 間健二², 金崎秀司³ (¹愛媛大・農, ²愛媛農水研・企画環境部, ³愛媛農水研・果樹研究センター)
- 13:55 D204 Determination of fungicide residues by SPE or QUECHERS
○Torsten Spitzer (Environmental, Industrial and Food Analysis)
- 14:10 D205 マンガンを指標としたマンゼブ簡易分析法の実用性評価
ー短期間の人工降雨処理条件下における付着量の推移ー
○正司和之, 田代暢哉 (佐賀上場営農セ)
- 14:25 D206 農薬の後作物残留について (第1報)
2005年から2012年に都府県で得られたデータの概略
○林裕美¹, 小山知生¹, 山本幸洋², 清家伸康³, 青木こずえ⁴, 稲生栄子⁵, 上野華子⁶, 加藤剛⁷, 川戸直子⁸, 木村一郎⁹, 鈴木郁子¹⁰, 田中昭人¹¹, 西川学¹², 野崎律子¹³, 望月証¹⁴, 矢崎明美¹⁵, 矢吹芳教¹⁶, 吉村幸江¹⁷ (¹東京農総研, ²千葉農林総研, ³農環研, ⁴高知農技セ (現高知環境セ), ⁵宮城農園研, ⁶熊本農研セ, ⁷埼玉農総研, ⁸京都農技セ, ⁹山口農総技セ, ¹⁰岐阜農技セ, ¹¹徳島農総技セ, ¹²奈良農総セ, ¹³栃木農試, ¹⁴兵庫農総セ, ¹⁵長野農試, ¹⁶大阪環農総研, ¹⁷愛知農総試)
- 14:40 D207 うり科果菜類の作物グループ化に関する基礎調査
○富山成人¹, 逆井美智子¹, 長田拓也¹, 森田久孝², 皆川保雄², 松村栄一², 櫻井昭寿², 松澤幸一郎³, 望月隆広³, 樋口俊三³, 丸論³, 飯島和昭¹, 佐藤清¹ (¹残留農薬研究所, ²日本植物防疫協会, ³化学分析コンサルタント)
- 14:55 D208 施設栽培における葉物野菜の農薬残留に対する遮光資材の影響
○望月証, 神頭武嗣 (兵庫農総セ)
- 15:10 D209 農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第4報 温度変化が農薬の土壤残留性に及ぼす影響
○元木裕¹, 岩船敬², 清家伸康¹, 大谷卓¹ (¹農環研, ²農林水産消費安全技術センター)
- 15:25 D210 パッシブサンプラーを用いた水域の農薬モニタリングに及ぼす水温の影響
○矢吹芳教¹, 相子伸之¹, 永井孝志², 稲生圭哉² (¹大阪環農総研, ²農環研)
- 15:40 D211 模擬水田および実水田における各種除草剤の水中残留濃度の比較
○若曾根佳樹¹, 近藤圭¹, 奥野潤一², 中村直紀², 村岡哲郎², 飯島和昭¹, 佐藤清¹ (¹残留農薬研究所, ²日本植物調節剤研究協会)
-

-
- 15:55 D212 水生植物に対する化学物質の影響評価へのクロロフィル遅延発光の利用
○加藤貴央¹, 石原悟¹, 勝又政和², 竹内彩乃², 小林祐子² (¹農林水産消費安全技術センター, ²浜松ホトニクス)
- 16:10 D213 ニホンアマガエル幼生 (オタマジヤクシ) の水稲用農薬に対する感受性
ー毒性試験結果と数理モデルによる田面水中の推定濃度との比較ー
○大津和久, 稲生圭哉, 大谷卓 (農環研)
- 16:25 D214 Evaluating the effects of major floods on herbicide concentrations downstream of Brisbane River, Queensland using passive samplers
Weilin Zheng, Christie Gallen, ○Phong Thai, Geoff Eaglesham, Jochen Mueller
(National Research Centre for Environmental Toxicology, University of Queensland)
- 16:40 D215 セイヨウミツバチ幼虫に対する慢性摂食毒性試験 (Aupinel 法: OECD Draft Guidance) ① 試験方法と給餌技術の及ぼす影響について
○白石晃代¹, 中村佳子¹, 小林久人¹, 伊藤雅也¹, 野田篤¹, 雑賀修²
(¹生物科学安全研究所, ²日曹分析センター)
- 16:55 D216 セイヨウミツバチ幼虫に対する慢性摂食毒性試験 (Aupinel 法: OECD Draft Guidance) ② 発育遅延の影響について
○中村佳子, 小林久人, 白石晃代, 伊藤雅也, 野田篤 (生物科学安全研究所)
- 17:10 D217 土壌くん蒸圃場周辺での MITC 暴露濃度評価法の検討 (1)
ー捕集, 前処理方法の最適化ー
○野村誠¹, 市原勝¹, 小原裕三² (¹高知県農技セ, ²農環研)
- 17:25 D218 土壌くん蒸圃場周辺での MITC 暴露濃度評価法の検討 (2)
○市原勝¹, 野村誠¹, 小原裕三² (¹高知県農技セ, ²農環研)
- 17:40 D219 土壌中残留農薬のシュンギクへの移行係数調査
○飯島和昭¹, 若曾根佳樹¹, 宮本彩¹, 杉本佐和子¹, 藤田由紀¹, 荒井雄太², 櫻井昭寿², 松澤幸一郎³, 佐藤清¹ (¹残留農薬研究所, ²日本植物防疫協会, ³化学分析コンサルタント)
- 17:55 D220 農業用マルチフィルムの土壌くん蒸剤クロルピクリン透過速度の評価
○三宅圭¹, 田中昭人¹, 小原裕三², 中島典行², 大久保潤²
(¹徳島農総技セ, ²農環研)
- 18:10 D221 難透過性フィルム被覆下における黒ボク土気相中の土壌くん蒸剤濃度
○山本幸洋¹, 原田浩司¹, 横山とも子¹, 武田藍¹, 小原裕三² (¹千葉農林総研, ²農環研)
- 18:25 D222 土壌くん蒸剤の広域大気中濃度の初期評価の試み
○小原裕三¹, 渡邊栄喜¹, 門馬法明² (¹農環研, ²園研)
-

第3日 3月15日(土) B会場(W-314教室)

- 13:10 B301 フルオロホルムを用いるトリフルオロメチル化反応
○鈴木悟, 大楠賢, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院・工)
- 13:25 B302 C-F 結合活性化を伴う光学活性含フッ素イソキサゾリン誘導体の合成
○西峯貴之, 福士和伸, 柴田直幸, 平等尋巳, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院・工)
- 13:40 B303 HF を用いた触媒的不斉フッ素化反応の開発
○加茂智浩, 鈴木悟, 平松孝章, 福士和伸, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院・工)
- 13:55 B304 選択的 C-F 結合開裂反応を鍵反応とする含フッ素医薬候補化合物の合成
○田中隼紀, 鈴木悟, 寺田知里, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院・工)
- 14:10 B305 不斉トリフルオロメチル化反応を用いたエイズ治療薬 Efavirenz の触媒的合成法開発
○安田吉将, 大楠賢, 河合洋幸, 杉田豊, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院・工)
- 14:25 B306 抗生物質エナシロキシン類の合成研究
○清田洋正¹, 五十嵐渉², 齋藤亜紀², 古川博之², 星川浩輝², 八尾坂学², 山田てい子², 桑原重文² (¹岡山大院・環境生命, ²東北大院・農)
- 14:40 B307 農薬結合性タンパク質の網羅的回収を指向した機能性樹脂の開発
○松下智久, 倉持幸司, 椿一典 (京府大院・生命環境)
- 14:55 B308 新規除草剤フェンキノトリオンに関する研究 (第1報) -合成及び構造と活性-
○玉井龍二¹, 伊藤稔¹, 山口幹夫², 小林方美³, 永松敦³, 中野勇樹⁴ (¹ケイ・アイ研究所, ²イハラケミカル, ³クミアイ化学, ⁴KUMIKA INTERNATIONAL)
- 15:10 B309 Synthesis of 1,3,4-trisubstituted iminopyridazines and their antagonistic activity against insect GABA receptors
○Mohammad Mostafizur Rahman, Kazuki Nomura, Madoka Takashima, Kenjiro Furuta, Fumiyo Ozoe, Yoshihisa Ozoe (Dept. Life Sci. Biotechnol., Shimane Univ.)
- 15:25 B310 エチレン部位に種々の置換基を有するイミダクロプリド類縁体の生物活性
○長岡ひかる, 西脇寿, 山内聡, 首藤義博 (愛媛大・農)
- 15:40 B311 チオイミデート誘導体の探索研究 第一報 リード化合物の発見
○伊藤滋之, 神山英夫, 岩田淳, 岡本央 (住友化学)
-

-
- 15:55 B312 チオイミデート誘導体の探索研究 第二報 2-プロペニルチオイミデートの殺虫活性
○伊藤滋之, 神山英夫, 坂元法久 (住友化学)
- 16:10 B313 チオイミデート誘導体の探索研究 第三報 アリールイミン誘導体及びイミデート誘導体の合成と殺虫活性
○神山英夫, 伊藤滋之, 荒木知洋, 倉賀野隆, 坂元法久, 岡本央 (住友化学)
- 16:25 B314 新規ピラゾールカルボキサミド誘導体の合成と殺ダニ活性
○小山一秋, 藤井英世, 岡田至, 木下祐子, 福地俊樹 (アグロカネショウ)
- 16:40 B315 新規幼若ホルモンアンタゴニストの合成探索
○前田慶¹, 粥川琢巳², 舩本将明¹, 篠田徹郎², 古田賢次郎¹ (¹島根大・生資科, ²農業生物資源研究所)
- 16:55 B316 *N*-(2-phenyl-1*H*-imidazol-1-yl)benzamide 類のイミダゾール環上アルキル置換基が脱皮ホルモン様活性に与える効果
○南沙紀, 横井大洋, 瀧本征佑, 中川好秋, 宮川恒 (京大院・農)
- 17:10 B317 脱皮ホルモンアゴニスト Thiadiazoloimidazole 類の合成と活性評価
○横井大洋, 中川好秋, 宮川恒 (京大院・農)
-

第3日 3月15日(土) C会場(W-322教室)

- 13:10 C301 BHC 関連化合物の合成と活性
○黒田航¹, 永崎果鈴¹, 田中啓司^{1,2}, 松田一彦¹, 尾添嘉久³, 栗原紀夫⁴ (¹近畿大・農, ²名古屋大エコトピア科研, ³島根大・生資科, ⁴京都大)
- 13:25 C302 OCH₃基, OH基で置換された γ -BHC 類縁体の GABA 作動性 Cl⁻イオンチャネルに対する効果
○永崎果鈴¹, 田中啓司^{1,2}, 松田一彦¹, 尾添嘉久³, 田中琢治⁴, 栗原紀夫⁵ (¹近畿大・農, ²名古屋大エコトピア科研, ³島根大・生資科, ⁴Univ. of Saskatchewan, ⁵京都大)
- 13:40 C303 α -BHC および1-OH- γ -BHC 類縁体のラセミ体光学分割とそれら鏡像異性体の活性
○田中啓司^{1,2}, 尾添嘉久³, 松田一彦¹, 森本正則¹, 栗原紀夫⁴ (¹近畿大・農, ²名古屋大エコトピア科研, ³島根大・生資科, ⁴京都大)
- 13:55 C304 γ -BHC 類縁体のイェバエ頭部神経膜画分に対する³H-EBOB 結合阻害活性
○辰巳司¹, 田中啓司^{2,3}, 尾添嘉久¹, 松田一彦², 栗原紀夫⁴ (¹島根大・生資科, ²近畿大農, ³名古屋大エコトピア科研, ⁴京都大)
- 14:10 C305 Fipronil 低感受性 GABA レセプターに対する fluralaner (A1443) の作用
○高島麻都花¹, 旭美穂², 喜多知¹, 野村和希¹, 尾添富美代¹, 中平国光², 尾添嘉久¹ (¹島根大・生資科, ²日産化学)
- 14:25 C306 イェバエグルタミン酸作動性クロロイオンチャネルのアンタゴニスト感受性
○喜多知¹, 尾添富美代², 尾添嘉久^{1,2} (¹鳥取大院・連農, ²島根大・生資科)
- 14:40 C307 オクトパミンレセプターアゴニストの HEK-293細胞発現系におけるレセプター選択性と機能選択性
○林剛志, 加藤玲衣, 尾添嘉久 (島根大・生資科)
- 14:55 C308 ネットアイシマカ電位依存性ナトリウムチャネルの変異とピレスロイド感受性
○平田晃一¹, 駒形修², 糸川健太郎², 山本敦司¹, 富田隆史², 葛西真治² (¹日本曹達, ²国立感染症研究所)
- 15:10 C309 既存の非競合的 RDL GABA 受容体アンタゴニストとは作用部位が異なる新規殺虫性メタジアミド化合物
○中尾俊史, 番場伸一, 野村路一, 平瀬寒月 (三井化学アグロ)
- 15:25 C310 昆虫ステロイド還元酵素の機能ならびに立体構造解析
○山本幸治¹, David K. Wilson² (¹九大院・農, ²カリフォルニア大)
- 15:40 C311 カイコガ pH 感受性イオンチャネルの機能特性
○中谷有里, 古谷章悟, 伊原誠, 松田一彦 (近畿大・農)
-

-
- 15:55 C312 抑制性グルタミン酸受容体の選択的スプライシングによる機能的受容体発現量の調節
○古谷章悟, 伊原誠, 松田一彦 (近畿大・農)
- 16:10 C313 新規殺菌剤テブフロキンに関する研究 (第3報) -圃場活性-
○山本憲太郎, 寺岡豪, 松村誠, 山本一美, 梅村賢司, 三富正明, 魚本勝人 (Meiji Seika ファルマ)
- 16:25 C314 SDHI 剤使用中止後のボスカリド耐性キュウリ褐斑病菌の消長とフルオピラム感受性
○石井英夫 (農環研)
- 16:40 C315 大腸菌で発現させたカラシナ由来ディフェンシン (Bj-AFP1) の簡易抗菌活性判定法
○日比忠晴¹, 及川鉄男¹, 栃原孝志¹, 提箸祥幸¹, 森浩一¹, 光原一郎², 平八重一之¹, 川田元滋¹ (¹農研機構・中央農業総合研究センター, ²農業生物資源研究所)
- 16:55 C316 パイロシークエンス法を用いたキュウリ褐斑病菌の殺菌剤耐性変異の検出
新福剛¹, 坂野真平², 粕谷紫帆¹, ○藤村真¹ (¹東洋大・生命, ²日植防)
- 17:10 C317 全ゲノム手法を用いた殺菌剤 tolnifanide 耐性点の同定
○泉津弘佑¹, 宮川恒², 田中千尋² (¹滋賀県大・環, ²京大院・農)
-

第3日 3月15日(土) D会場(W-422教室)

- 13:10 D301 ヘリコプターで松林に散布されたフェニトロチオン MC の防除効果の振れをもたらす要因としての散布むら
○本山直樹¹, 阿部豊², 孫立倉³, 田畑勝洋⁴ (¹千葉大, ²日本緑化セ, ³ロイヤルインダストリーズ, ⁴岐阜森林文化ア)
- 13:25 D302 ヘリコプターで松林に散布されたフェニトロチオン MC の隣接農耕地と学校への飛散
本山直樹¹, 阿部豊², ○田畑勝洋³ (¹千葉大, ²日緑化セ, ³岐阜森林文化ア)
- 13:40 D303 メタゾスルフロン及び代謝物の水稻への残留性
○黒須和秋, 山本富子, 小川和雅, 横内敬司 (日産化学)
- 13:55 D304 水田に施用された除草剤の動態
○西川学¹, 谷川元一¹, 奥村優樹², 森田遼² (¹奈良農総セ, ²近畿大・農)
- 14:10 D305 土壌中におけるアブシジン酸の挙動と生物活性
○櫻井栄¹, 加茂綱嗣², 平舘俊太郎², 轟泰司^{1,3} (¹静大院・農, ²農環研, ³静大グリーン研)
- 14:25 D306 ウリ科植物における残留性有機汚染物質の取り込みメカニズム
○乾秀之^{1,2}, 沢田真美², 後藤純弥², 山崎清志², 兒玉典子², 鶴田宏樹³, 殷熙洙⁴ (¹神戸大・遺伝子, ²神戸大院・農, ³神戸大・連創, ⁴農環研)
- 14:40 D307 PADDY-Large モデルを用いた茨城県桜川流域での水稻用農薬の動態予測
○稲生圭哉, 堀尾剛, 岩崎亘典, 横山淳史, 永井孝志, 依田育子 (農環研)
- 14:55 D308 Validation of a model for predicting the behavior of Nursery-Box-applied pesticides (PCPF-NB) in paddy environment
Julien Boulangé, Dang Quoc Thuyet, ○Hirozumi Watanabe (Tokyo University of Agriculture and Technology)
- 15:10 D309 新規ディルドリン分解菌 *Rhodanobacter spathiphylli* DRE 株によるディルドリン分解代謝物の探索
○伊藤虹児^{1,2}, 榊原風太², 畠山誉史², 山崎健一², 清田洋正³, 岡田早苗¹, 高木和広^{1,2} (¹東農大院・農芸化学, ²農環研, ³岡山大院・環境生命)
- 15:25 D310 LC-Orbitrap MS を用いたディルドリン分解代謝物の探索
○榊原風太^{1,2}, 伊藤虹児^{1,3}, 松尾洋輔⁵, 清田洋正⁴, 中川博之⁵, 高木和広^{1,3} (¹農環研, ²日本学術振興会, ³東農大院・農芸化学, ⁴岡山大院・環境生命, ⁵農研機構・食総研)
- 15:40 D311 新規殺ダニ剤ピフルブミド (NNI-0711) に関する研究 (第4報)
○浜坂康貴, 米村崇, 田中恒之, 高橋良典, 古谷敬, 正木隆男, 元場一彦 (日本農薬)
-

-
- 15:55 D312 α -BHC ラセミ体の代謝
○田中啓司^{1,2}, 周雪², 片山新太², 松田一彦¹, 栗原紀夫³ (¹近畿大・農, ²名古屋大エ
コトピア科研, ³京都大)
- 16:10 D313 殺菌剤アミスルブロムのニワトリ代謝
○山岸由和¹, 井島康行¹, 小川和雅¹, 横内敬司¹, Sara Penketh² (¹日産化学, ²ハン
ティンドン・ライフサイエンス)
- 16:25 D314 新規殺菌剤テブフロキンに関する研究 (第4報) ~水中での動態について~
○中西希, 山本憲太朗, 山本一美, 三富正明, 魚本勝人 (Meiji Seika ファルマ)
- 16:40 D315 新規除草剤フェノキサスルホンのラットにおける代謝
○佐藤怜, 池田光政 (クミアイ化学)
- 16:55 D316 新規除草剤フェノキサスルホンの土壌における代謝及び残留
○高橋香隆, 池田光政 (クミアイ化学)
- 17:10 D317 新規除草剤フェノキサスルホンの水稻における代謝および残留
○宇佐美智巳, 池田光政 (クミアイ化学)
-